

2022年(令和4年)度 事業報告書

2022年4月1日より2023年3月31日まで

第1 公益目的事業

定款第4条に掲げる事業は、次の計画により行った。

公1 がんに関する学術研究集会の定期開催、ならびに海外学術調査研究事業

① 国際がんシンポジウム事業(第40回)

第40回国際がんシンポジウムは2022年6月23日～25日の3日間、国内外から23名の研究者を招き、ロイトン札幌にてWEB とのハイブリット形式で開催した。テーマは「Tumor Heterogeneity: From genomic evolution to clinical impact (がんの不均一性:がん細胞ゲノムの適応進化と細胞クローン化、薬剤耐性まで)」、代表世話人は東京大学医科学研究所人癌病因遺伝子分野 教授の村上善則氏で、オンラインを含め125名の参加者を得て盛会裏に終了した。

② 冬季がんセミナー事業(第37回)

2023年1月28日(土)、道内外から9名のがん研究者を招き、道内の演者・座長には会場に来ていただき、聴講者はWEB 形式の一部ハイブリット形式にて開催した。テーマは「いまがんを考える 2023ーテクノロジーの進歩と最新のがん治療ー」、代表世話人は北海道大学大学院医学研究院放射線治療学教室教授 青山英史氏で、会場で15名、WEB で143名の参加者を得て盛会裏に終了した(大鵬薬品工業(株)との共催)。

③ 市民がつくる春のがんセミナー事業

2023年3月25日(土)、北海道医師会館8階会議室にて会場とWEB とのハイブリット形式で開催した。北海道大学病院脳神経内科助教の松島理明先生、北海道大学病院がん相談支援センターの杉本由佳氏のお2人にご講演をいただき、会場での参加者19名、WEB 参加は39名で盛会裏に終了した(北海道医師会との共催)。

公2 がん予防・啓発、ならびにがん相談事業

④ がん啓発・予防事業

札幌市教育委員会と連携して、インセンティブ・ファンドを札幌市内の月寒小学校、豊園小学校、月寒中学校、中の島中学校の計4校に支給し、活動を行ってもらった。

出前授業を行う外部講師への謝金支援事業は札幌市保健所と連携し、応募のあった小学校14校、中学校2校の計16校へ支給した。講師の内訳は医師11名、看護師2名、がん経験者3名であった。

また、がん患者及び家族への無料相談を事務局にて行った。

⑤ 広報関連事業

広報誌 The Way Forward を年2回作成し、関係機関へ配布した。その他、ホームページの更新などを行い、財団活動を広く周知した。また癌学会会場にて財団活動の紹介ポスターを展示させていただいた。

公3 医学・医療・福祉など関係の学会研究の助成事業

⑥ 学会助成事業

本年度は申し込みがなかったため助成は行わなかった。